

## 土器川生物公園

土器川生物公園は、土器川の河口から約 9km 左岸の丸亀市垂水地区にあります。土器川には堤防が壊されるのを防ぐ知恵として霞堤（かすみてい）が所々にあり、霞堤の内部には広い空間が残されています。土器川生物公園は、この霞堤の空間と伏流水の取水施設である出水（ですい）を利用して作られたものです。公園の面積は約 10ha で、その中にせせらぎ水路、じゃぶじゃぶ池、かすみの原、かわら広場、かわら舞台、多目的広場、芝生広場などがあります。また、土器川生物公園に隣接して垂水地区の防災ステーションがあり、平常時には地域の交流・憩いの場としても活用できるようになっています。

土器川生物公園は、多様な生物の生息・生育空間と自然学習の場をつくることを目的として、国土交通省（建設省）と丸亀市が共同で整備しました。平成 5～8 年度に建設省により第 1 期事業としてせせらぎ水路、じゃぶじゃぶ池、かわら広場などが整備され、これと並行して丸亀市により平成 5～21 年度に案内看板、パーゴラ、トイレ、遊具などのアメニティ施設、駐車場や生物園内の園路などが整備されました。さらに国土交通省では下流低水護岸などの整備完了を待って平成 16～21 年度に第 2 期事業として公園連絡路、ホタル水路、環境水制工などを整備しました。施設整備の後には、丸亀市淡水漁業組合の提供により土器川に生息する魚が放流され、みやこわすれの会や香川植物の会の協力によりせせらぎ水路や池の中にミズアオイ、ショウブなどの植物が植えられるなど、地域の人々の協力にも支えられてきました。

土器川生物公園では、2 月に丸亀市立垂水小学校の児童らによるホタルの幼虫放流、5 月には土器川ホタルまつり、7 月には土器川一斉清掃、8 月には土器川夕涼みコンサートなどが行われて、多くの人々がイベントに参加しています。また、土器川生物研究会などによる生物公園生物調査が行われており、得られたデータは小学校の授業を含めて環境学習に活用されています。さらに、土器川生物公園が平成 22 年に公開された映画「きな子～見習い警察犬の物語～」の撮影現場として使われたこともあり、知名度が向上して遠方から訪れる人も多くなりました。

公園内には垂水保育所園児一同による「土器川生物公園こども宣言」が掲示されています。「魚や木や草を大切にします」「美しい川を守ります」「危ない遊びはしません」「この約束を守って楽しく遊びます」。子どもも大人も楽しく過ごすことができる土器川生物公園であり続けてほしいものです。

<参考文献：四国地方整備局事業評価監視委委員会資料、四国クリエイト協会「会報クリエイト第 29 号」2014 年など>

